

平成 20 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成 15 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価時点 H15	本庄江 広域基幹河川改修事業 事業主体：県 事業地：佐賀市	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 100m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=120億円 工期：S52~H21 改修延長：L=5,965m 計画流量：100m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管17基、橋梁10基、堰2基、水門1基	本川については、国道207号付近から塚原橋下流にかけて完成している。 現在、上流部の改修を促進している。 また、支川新川については、H10年度完了。 国道207号の新高橋他7橋完成 (H14末進捗率 80%) (事業費ベース) (年平均進捗率 3.1%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 500戸 農地浸水面積 520ha (地域の状況) 上流域では、鍋島土地区画整理事業など、また、周辺地域においても、住宅宅地開発が行われている。	事業採択時と比較し、都市化の進展による人口増加のため、費用対効果は増大していると考えられる。 現在(B/C) 2.3	(コスト縮減策) 樋管工において、「柔構造化」工法を採用する等によりコスト縮減を図る。	再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H20			前回評価時より事業費が増額となった。 全体事業費：C=131億円 工期：S52~H30 改修延長：L=5,965m 計画流量：100m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管17基、橋梁10基、堰2基、水門1基	本川については、国道207号付近から上流は、橋梁1基を残し完成している。 現在、流下能力の向上を図りため、下流部の河道掘削を促進している。 また、支川新川については、H10年度完了。 国道207号の新高橋他8橋完成 (H19末進捗率 83%) (事業費ベース) (年平均進捗率 2.7%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 上流域では、鍋島土地区画整理事業など、また、周辺地域においても、住宅宅地開発が行われている。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 一般資産被害額 農作物被害額 公共土木施設等被害額等 B=69,314百万円 総費用額 C=24,215百万円 現在(B/C) 2.9	(コスト縮減策) 土工事において、建設発生土の利用促進を行う等により、コスト縮減を図る。 残土処分については、近接する他事業箇所への搬出により、残土運搬コストの縮減を図る。	再々評価実施後5年が経過	平成2年等の洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等			・鋼材単価の高騰による工事費の増。 ・河川構造物の耐震検討に関する新たな指針による構造物の検討費用及び工事費の増。 ・行財政改革等の予算縮減を受け年度事業費が減となったことによる工期延長。						

